

長土地区 から こんにちは
今月の 気になる人



れいほく支所管内より

農業サイコー!!

はら だだし
原田 正さん

「農業が大好き! 農業サイコー!!」と話す原田さん。5年前に神奈川県から土佐町へ移住し、農業の研修期間を終えて現在就農2年目です。

夏は土佐甘とう、冬はスナッフエンドウを栽培しています。趣味は音楽鑑賞やギターを弾くこと。また、地元の清掃活動やJA青壮年部活動にも積極的に参加をしています。今後の目標はと尋ねると、「若い世代に農業の魅力を与えていけるように取り組みたい」と力強く話してくれました。

三和支所管内より



パパとママに似て仲良しです

かわく ぼ ことこ
川久保 采子ちゃん(4)
れん
蓮くん (1)

面倒見の良い采子ちゃんとわんぱくな蓮くんは、とても仲良し。蓮くんは采子ちゃんから言葉を教えてもらうので、「おちた」や「はっば」「ありがとう」などオウム返しでお返事できます。

飛行機が大好きな蓮君は、音に反応して夜でも外に探しに出ていくことも。おままごごと好きな采子ちゃんは、ここ1カ月でほとんど泣かなくなり、大人になりました。ご両親は「嘘をつかない子」「自分の意見をしっかり持つ子」になってほしいと願っています。

日章支所管内より



優雅な泳ぎに癒されます

なかざわ ひろやす
中澤 宏康さん(80)
ていこ
禎子さん(76)

ご自宅の池で錦鯉などを40匹以上飼っている中澤さん。毎朝、宏康さんが「早よ来い、早よ来い」と、手を叩いて呼ぶと近づいてきて餌を求めます。

昔は鯉屋で鯉を購入していたそう。過去に2回ほど台風被害で近くの田んぼに流されてしまったり、サギに食べられてしまう大惨事に見舞われながらも、やはり可愛いからとその度に購入。鳥避けネットも写真写りを考慮して、わざわざ外して頂きました。色とりどりの鯉の優雅な泳ぎに、「見ていて飽きないね〜」とほっこりしました。

れいほく支所管内より

さめうら湖を好きになってほしい

いしかわ みめ
石川 水愛さん



大川村出身で、現在土佐町の「特定非営利活動法人さめうらプロジェクト」で働く石川さん。主な活動は早明浦ダム(さめうら湖)と周辺地域の資源を有効活用し、「守る(環境保全、安全対策)」、「遊ぶ(観光振興、スポーツ振興)」、「学ぶ(共育・教育の充実、交流促進)」などの活動に取り組んでいます。また、「シーバードジャパンさめうら支部」の一員として、湖でのスポーツイベント時には水上オートバイで警備活動も行っています。「地元の子供たちにさめうら湖がある故郷を好きになってもらいたい。安全に楽しめる環境にしていきたい!!」と、力強く話してくれました。

岡豊支所管内より

本当に夢の場所です

のむら かずひろ
野村 和弘さん(62)



南国市白木谷で孟宗竹、四方竹、水稻を栽培している野村さん。「今年は孟宗竹が表年ということもあり、すべて良かった」と笑顔で話します。

四方竹共同加工場の「白木谷ゆめファクトリー」の運営も行っており、「自分たちだけでできなくなった時に頼れる場でありたい」と、地場産品を守ることを大切にしています。加工場で働く方は、家の仕事を終わらせてから夜中まで作業を手伝いに来てくれます。また、最近は少量でも四方竹を持ってきてくれる人が増えて嬉しいそうです。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 南国市地域

園芸部通常総会



長岡園芸部の総会の様子

11月12日に長岡園芸部、21日に南国市園芸部、26日に十市園芸部が、平成31(令和1)園芸部年度通常総会を開きました。総会には部員や市場関係者、JA職員らが出席。長岡では約50人が参加し、高橋園芸部長の挨拶後、平成31園芸部年度事業報告書、損益計算書の承認を行い、来年度の計画が審議されました。第1から第3議案まで審議し、全ての議案が承認。市場からは、今年の出来や来年度に向けて安定した出荷を求める声などがあげられました。

3 れいほく地域

欧州に向けてユズ輸出



ユズの箱詰め作業を行う作業員ら

れいほく管内のユズ農家は11月14日、大豊町の大田口集出荷場で欧州向け輸出用ユズの出荷を始めました。生産者やJA職員、大豊町役場や県職員らが、ユズ玉の傷や病害虫の付着を念に目視で確認。今年は、夏場の高温で玉焼けしたユズや台風の影響による擦れなどが見られました。ユズ玉は、殺菌溶液に浸して乾燥後に手作業で箱詰めします。当日、ユズ農家らが検疫を受けたユズ玉をオランダ向けに200kg、イギリス向けに12kg(1箱1.5kg)準備しました。

6 れいほく地域

第36回本山町南部農民運動会



ハデかけ取り入れ

11月23日、本山町南部地域の農家と住民が一堂に会して本山町南部運動会が開催されました。今回で36回目を数え、ここ数年は参加地域も大石地区のみとなりましたが、町内外から70人が参加。大石農村運動公園で「縄ない競争」や、「ハデかけ取り入れ競争」など農民運動会ならではの競技を行い、子供からお年寄りまで楽しんだ1日でした。

4 南国市地域

「2019 JAまつり」開催しました



JAまつりに参加するお客さんら

11月9・10日の2日間、南国営農経済センターのライスセンター周辺で「2019 JAまつり」を開催しました。会場の販売コーナーでは、女性部や青壮年部をはじめ、直販店や購買コーナーなどが出店。また、ステージイベントでは、ご当地ヒーロー「ゴメンジャー」ショーや豆電球のライブ、土佐かつおさんのトークショーなどで盛り上がりしました。その他、女性部による踊りやマジックショーが披露され、農産物品評会やスタンプ抽選会など楽しい2日間となりました。



ミンチになったみそをこねる児童ら

1 南国市地域

国府小学校の児童がみそ作り体験

南国市立国府小学校の6年生16人は11月27日、岡豊町笠ノ川のみそ加工所でみそ作りを体験しました。同校では毎年6年生がこの時期になると、総合の授業の一環でみそ作りを訪れています。児童たちは、JA職員からみそ作りの手順について説明を受けた後、圧力釜で煮た大豆を取り出す作業から開始。冷ました大豆と米麹、塩を混ぜ合わせてミンチにし、よくこねて丸め、樽に詰めていきます。みそは白みそで、約3か月に訪れています。同加工所では、女性部が毎年みそ加工を行っており、今年11月中旬から12月下旬まで加工しました。また、農業や食文化への理解を深め、米の消費拡大と後継者育成を図ることを目的に、地元高校などにもみそ作り体験を開いています。



研修生に調理法を教える真辺さん

2 れいほく地域

中南米女性部と米粉講習

女性部れいほく地区は11月24日、中南米日系団体女性部と農村交流を行いました。中南米からは研修生8人が参加し、本山町さくら市でれいほく産の米粉を使った料理講習や土佐町で棚田を視察しました。中南米日系団体女性部を受け入れたのは、平成25年1月以降2回目となります。当交流会は、農林水産省が行う「中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業」の一環。同女性部の川井部長と真辺さん指導のもと、グラタンやパン3種類、イチゴロールケーキやユズクッキーなどを作成しました。中南米日系団体女性部は、メモや写真をとりながら熱心に講義に参加していました。川井部長は「学んだことを全部吸収して、自国で活用したいという思いが強い方ばかりだった。日本語も上手で楽しく会話できた」と話しました。また、真辺さんは「熱心な方ばかりなのでコツをしっかりと教えたいと思った。この活動や米粉の活用方法をもっと広めたい」と笑顔で話していました。

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

高知県GAP第三者確認制度「登録第1号」となりました

JA高知県れいほく園芸部のうち、米ナス、カラーピーマン、シシトウの3部会が高知県GAP第三者認証制度「登録第1号」となりました。

れいほく園芸部では、2018年から高知県版ガイドライン準拠GAPに取り組んでおり、9月25日に第三者からの確認調査を受けました。高知県内で調査まで至ったのは、れいほく地区が初めてとなります。施用した肥料や毎日の収穫量の記録、農薬の保管方法等約70項目を現地で確認し、指摘があった事項については是正報告を行いました。その結果、れいほく園芸部でのGAPの取組が認められ、3部会から東京オリンピック・パラリンピック大会へ食材を提供する準備が整いました。

しかし、高知県GAP第三者確認制度への登録がゴールではありません。今回は3部会のみでの登録となりましたが、今後は園芸部全体での登録を目標に、多くの人に認められ、信頼される産地を目指してGAPに取り組んでいきます。



調査の様子

〈GAPとは?〉

GAPは、「Good Agricultural Practice」の頭文字を取った言葉で、「農業生産工程管理」と呼ばれていますが、直訳すると「良い農業の取組」という意味になります。

具体的な取組内容は、①環境に負荷をかけない。(環境保全)②農業事故や異物混入を未然に防ぐ。(食品安全)③農作業を安全に行う。(労働安全)という3つのポイントを点検項目に沿ってチェックしていきます。国のガイドラインに示された取組事項は、野菜では49項目ありますが、皆さんが日頃行っていることがほとんどです。当たり前のことを目に見える形で確認して行うことが「GAP」です。また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックで提供される農産物には、GAPの認証取得が求められています。

環境保全
作物残渣の処理は適切か?

労働安全
機械の点検はしたかな?

食品安全
農薬の使用法・注意事項はラベルを確認!

(株)れいほく未来は 嶺北地域の農業を支えます!

(株)れいほく未来は、農業者の労力軽減や農地の維持管理を目的に、嶺北地域の農作業受託に取り組んでおり、水稲作業だけでなく、土壌消毒などの園芸作業についても受託しています。

「年齢と共に作業がきつくなったが、委託して農業が続けられた」「品質や収量を上げたいので、土づくりを頼みたい」といった農家の皆さんの声を励みに、地域の農業を守る活動を続けています。



お問合せ先：0887-82-1677

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課 0881-86312415

露地青ネギ冬場の管理

追肥

第1回目の追肥は定植後20日頃に、10アールあたり化成肥料(園芸化成S550等)20kg程度を目安として施用します。第2回目の追肥は、ネギの生育状況を見ながら収穫の20日前頃に施用します。

なお、ネギは濃度障害に弱く、過剰な施肥は病害や品質低下を招くので注意しましょう。

かん水

降雨が少なく、乾燥が続く場合は発育が悪くなるので灌水をするか、畦又は通路に水を通して適当な湿度を維持して下さい。乾燥は葉先枯れ、過剰なかん水は葉折れや倒伏の原因となるため注意してください。



防寒対策

11月下旬頃(霜が降りる頃)からは低温対策のために寒冷紗等で被覆します。厳寒期は保温のために農ホリで被覆する場合もありますが、その際はトンネル内が多湿にならないように適宜換気に努めます。

病害虫

冬場は夏場に比べて病害虫が少ないうえ、アザミウマ類や、灰色カビ病、白色疫病の被害が起ります。特にトンネル被覆時はトンネル内の温度上昇とそれに伴う病害虫の発生に注意しましょう。



南国営農経済センター 吉川 悠也

農産物栽培 講習会のご案内

家庭菜園向け初心者対象の講習会として開催しております。直販等に出荷されない方もお気軽にご参加ください。

日時 令和2年2月19日(水)

13時30分〜15時20分

内容 エダマメ 13時30分〜14時

スイートコーン 14時10分〜14時40分

オクラ 14時50分〜15時20分

場所 南国営農経済センター2階

(南国市上野田3031)

講師 JA 営農指導員

※参加ご希望の方は2月18日(火)までに、南国営農経済センター営農指導課(0881-86312415)まで連絡をお願いします。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

私は食べるのが大好きなので「産地のオススメ」コーナーを来月も楽しみにしています。おじいちゃんとおばあちゃんに興味で畑をやっている、休みの日は手伝ったりして過ごしています！もし当選したら届いた野菜でおばあちゃんと料理を作って報告のハガキ送りますね！

(岡豊支所・19歳)

▼「産地のオススメ」コーナーを楽しみにして下さる方が多くとても嬉しいです！P16ではいほくのユズ商品も紹介しているので、ぜひそちらもお試しください！おばあちゃんと一緒に料理が良いですね。料理のハガキが届くのを楽しみにしています！

久しぶりに栗の渋皮煮と吊るし柿を作りました。手間がかかるのであまり好きではありませんが、出来上がって食べてみるとやっぱり美味しい。野菜も地元産が出始めました。直販店に行くのも楽しみです。

(久礼田支所・66歳)

▼手間暇かけて作った料理はやっぱり美味しいですね！土長地区管内の直販所でも冬野菜が出始めているのでお買い物にいらしてください！

私は十市の「ごおち市」を毎日利用させていただいています。新鮮さをもとより安心・安全を感じます。

(十市支所・76歳)

▼地元の旬な農産物や水産物のみならず、店内で手作りする惣菜やパン、デザートも人気なんです！

れいほくJA女性部の夏まつりビアホールは知っている方がたくさんいて、昔は自分も参加していたので懐かしかったです。今は玉葱を植える畑を生懸命耕しています。

(れいほく支所・72歳)

▼とても楽しそうな写真ばかりでしたよね。昔からされていたイベントなんですね！私はこんちんと銀ぶろう寿司をこのビアホールで初めて知りました。玉葱の収穫が待ち遠しいですね！

◆俳句紹介
断捨離の 言葉聞かない 祖父の蔵

(長岡支所・76歳)

▼おじいさんは物を大切にされる方なんです。年末に少しでも断捨離できましたか？



(南国中央支所・19歳)



(十市支所・72歳)

INFORMATION

お知らせ

育苗センターアルバイト募集

内 容 水稻苗の出荷、播種作業など

作業期間 2月から3月下旬ごろまで

募集人数 若干名

※勤務時間、時給などはお問い合わせください。

お問い合わせ先 (株) 南国スタイル (担当: 後藤)
(TEL: 088-855-3179)

田村堰井筋関係水系の春期水止め

水止め期間 令和2年2月28日(金) 8時～
令和2年3月5日(木) 17時

水止め水路 「物部川統合堰」系統の各土地改良区
(田村堰井筋、物部堰井筋、久枝) 全水系

お問い合わせ先 物部川(連) 土地改良区
(TEL: 0887-55-2216)

JA高知県れいほく柚子商品 「ゆず七味」

唐辛子、ゴマ、青さなどをバランスよくブレンド。
うどんやそば、天ぷら、焼き鳥などにおすすめです。

内 容 量 45g **取扱店** とさのさと、かざぐるま市

お問い合わせ先 高知県農業協同組合れいほく柚子加工場
(TEL: 0887-73-0080)

